

# チャレンジの 指針

成功は失敗を越えた先にある。  
だからこそ恐れるな。  
夢に向かって頑張る姿は、  
いつの時代も美しい。

「生まれてからずっと住んでいて、これからも住み続けるのに、行政やまちづくりなどに若い人の声を届ける場がなかったんです」。これから地域を支えていく自分たち世代の声こそ発信すべきと、木村武史さんが平成23年に活動を始めたのが代表を務める「加斗クLOVE」。名前からも地元を愛する気持ちが伝わってくる。

これまでに、地元の「若狭鯉川シーサイドパーク」の清掃活動や竹林の整備、「加斗いきいき夢まつり」やソフトビーチバレー大会などの開催をしてきた。自分たちが楽しみながら活動を続ける姿を見せることで、次の世代である子どもたちに地元に住み続けることの魅力を伝えていくことも狙いにある。

活動を通じた人のつながりは、

地域を越えた広がりも見せている。平成24年9月には、ふくい若者チャレンジクラブの役員として、超過疎集落の上根来(かみねごり)地区に東京と京都の若者を招き、今後の集落の活用方法について話し合った。「都会の若者の反応に、何もなく不便なところが魅力として発信できると気付かされた」と木村さん。同クラブの嶺南地区の集まりでも、他の市町メンバーの活動や想いを聞くことが刺激となり、これまでには無かった考え方を知り、視野も広がった。木村さんは今、市町を越えた連携や交流で積極的に外に出ることこそ、愛する地元・加斗の次なる魅力発信につながるかと考えている。

ずっと住み続ける地元への想いを、  
外に向けることで次の展開へ。

加斗クLOVE 代表

きむら たけし  
木村武史

小浜市出身。若狭高校を卒業後、地元の郵便局に勤務。27歳の時に専業農家となる。「若い人に“自分でもできる”と思ってもらえるよう、農業という仕事の入口を広げていきたいと思っています」。若狭で活動する青年農業者の団体「Wakasa Agri 21」副会長や、「ふくい若者チャレンジクラブ」の嶺南地区役員も務める。



上根来での交流の様子。囲炉裏を囲みお酒を交わしながら意見交換。共同で食事を作り、空き家に宿泊した



竹林整備で伐採した竹で食器作り。油抜きをした竹で作った「竹テント」は地区行事などで活用している



## チャレンジするって 素晴らしい!

ホームページ・facebookページ  
「ふくい若者チャレンジクラブ」から  
イベント情報などを発信中!

### 仲間をみつけて新しいことにチャレンジ!

「ふくい若者チャレンジクラブ」メンバー募集中

あなたも「ふくい若者チャレンジクラブ」に登録して、メンバーと新しいことを始めてみませんか。子どもたちの自然体験や、街なかでの音楽ライブやアートイベントの開催など、いろんな分野で活動する若者やこれから新しく何かを始めたいと思っている若者の活動を応援します!

詳しくはこちら ▶ [福井県 若者チャレンジ](#)

事務局 福井県総務部男女参画・県民活動課 若者チャレンジ支援室 TEL:0776-20-0237  
youthchallenge@pref.fukui.lg.jp FBページ「ふくい若者チャレンジクラブ」